

一般質問 (要旨) 市政について 問う

★…一問一答方式



- 1 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)**
 - ① 地域環境に即したネコ対策の施策について
 - ② 地域の美化環境や防犯への取り組みについて
 - ③ 自転車等の交通施策について
- 2 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)**
 - ① 立川駅周辺環境改善の取り組みについて
 - ② 指定管理者について
 - ③ 公共施設の広告について
 - ④ 図書館の自習スペースについて
- 3 中町 聡 (日本共産党)★**
 - ① 子どもの貧困対策について
 - ② 新しいスポーツ施策について
 - ③ 清掃行政について
- 4 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)★**
 - ① ありのままの自分で大人になれる社会を！ 性の多様性について
 - ② 子どもに関する直営・民間委託された現場について
 - ③ 基地あるまちづくりとしての情報公開を！
- 5 瀬 順弘 (公明党)**
 - ① 持続可能な社会づくりについて
 - ② 富士見町のまちづくりについて
 - ③ 文化芸術の振興について
- 6 若木 早苗 (日本共産党)★**
 - ① ひとり親家庭の支援策について
 - ② 若者の雇用支援について
 - ③ 地域のコミュニティの活性化のために
- 7 浅川 修一 (日本共産党)★**
 - ① 防災対策について
 - ② 道路整備について
 - ③ 子育て支援について
 - ④ 図書館行政について
- 8 山本 みちよ (公明党)**
 - ① 食品ロスの削減について
 - ② 障がい者スポーツについて
 - ③ 若葉町のまちづくりにエリアマネジメントの導入を
- 9 門倉 正子 (公明党)**
 - ① 東日本大震災から5年、立川市の復興支援への取り組みについて
 - ② 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるために！ 行政と地域で支える体制づくりを！
- 10 大沢 純一 (公明党)★**
 - ① ICT施策の推進について
 - ② 口腔ケアのさらなる取り組みを
 - ③ 砂川地域のまちづくり
- 11 高口 靖彦 (公明党)★**
 - ① 超高齢社会を見据えて
- 12 上條 彰一 (日本共産党)★**
 - ① 生活保護行政について
 - ② 大型店の出店とまちづくりについて
- 13 中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)**
 - ① 不登校児童・生徒への対策
 - ② まちづくりについて
- 14 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)★**
 - ① 子ども食堂について
 - ② 子どもたちの療育支援について
 - ③ まちづくりについて
- 15 大沢 豊 (緑たちかわ)★**
 - ① 市職員と市民・事業者の協働について
 - ② 子どもへの貧困について
 - ③ 公共施設整備と地域住民との関係について

○議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。

公共施設への広告掲載を 新たな広告掲載手法について検討

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)

問 市税収入は今後減少していくと考えられ、少しでも多くの税外自主財源の確保が必要です。公共施設への広告掲載は、税外自主財源を得る意味でも、地元企業のPRとしても有益であると考えます。八王子市の総合体育館工フォルタアリーナでは体育館内に広告を出せるパネルが28個設置されており、各企業がスポンサーとなり広告を出しています。広告料は1パネル年間10万円だそうです。是非前向きに取り組んでいただきたい。

答 市税収入の増加が見込めない中、税外自主財源確保の取り組みを強化する必要があります。公共施設の広告掲載については、庁舎の壁や柱などに貼り付ける壁面広告など、他の自治体の実績は承知しています。市内事業者の宣伝効果と財源確保双方に利点があり、官民連携の有効な手段と考えています。今後、他の自治体の取り組みを参考にし、市の広告掲載基準との適合性なども検証しながら、新たな広告手法について検討したい。

地域猫活動支援に対する補助金は 要綱に基づき支給

松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)

問 地域猫活動は市と活動団体、登録ボランティアや地域との連携で熱心に推進されていると聞き、しかし活動に要する費用負担は厳しく、1匹平均、不妊・去勢費用以外でも数万円かかり工面に大変な苦労があるとのことです。これらへの補助金体制はどうなっていますか。また、一部の集合住宅では、ごみ集積所などへの不法投棄が問題となっています。鍵付きの集積所に改善することで安心してつながらずとありますが、見解を。

答 地域猫活動は、平成21年6月に開始した事業で、立川市地域猫活動団体補助金要綱と猫の飼育等に関するガイドラインに基づき実施しています。補助金は要綱に基づき、地域猫活動団体が管理している猫を対象に不妊・去勢手術等の経費の一部などを予算の範囲内で支給しています。また、ごみ集積所をネットフェンスで囲うことで不法投棄が減少するなどの事例もあるので、管理会社等へ情報提供しつつ、適正な管理を求めています。

デマンドタクシーの検討を 持続可能な交通システム構築に向け慎重に検討

瀬 順弘 (公明党)

問 今定例会で「くるりんバス再編計画(原案)」が示されました。しかし地図上では見えない不便地域、また多様な行き先、高齢化率の地域偏在などをくるりんバスだけで解消することは困難です。例えば、前橋市はタクシーの利用運賃を補助する「でまんど相乗りタクシー」を市内全域で運行し、高齢者らの通院や買い物支援する仕組みが始まったと聞いています。デマンドタクシーについて市はどのように検討を進めるのでしょうか。

答 くるりんバス再編計画のコンセプトは、路線バスの補完、交通不便地域の解消、生活利便施設へのアクセス、持続可能なコミュニティバスです。説明会では廃止予定のルートの皆様から不便で困るなどのご意見をいただいています。路線廃止に伴う交通移動弱者対応については、再編ルートを運行した上で、デマンドタクシー等との役割分担や経費も含めて持続可能な交通システムを構築できるか慎重に検討したいと考えます。

子どもの貧困対策で子ども食堂を 「たまみら・子ども食堂」を試行

中町 聡 (日本共産党)

問 都は子どもの居場所創設事業として、学習支援や食事の提供などを、子ども食堂を対象とした補助制度を発表しました。子どもの貧困をなくしたいという地域の方々、子ども食堂に関心を持っており、地域でも子ども食堂を始めようとする動きもあります。こうした皆さんの力を生かして、その思いに沿った仕組みづくりを検討すべきだと考えますが、見解を伺います。

答 たまがわ・みらいパーク企画運営委員会が春休み中に6日間、子どもたちと昼食をつくり会食する「たまみら・子ども食堂」を試行的に開設予定です。都の事業が活用できるかについては内容を確認します。また、社会福祉協議会の主催で、子どもの食に関する連続講座が行われており、関心を集めています。仕組みづくりについては今後、「たまみら・子ども食堂」の試行も踏まえ、先進事例を参考に課題を整理したいと考えます。

食品ロス削減とごみ減量の対策を 2Rを推進し啓発を行う

山本 みちよ (公明党)

問 食品ロスとは、食べられる状態で廃棄される食品のことですが、この食品ロスの削減は世界的にも大きな課題とされています。今こそ市民一人ひとりが生活のあり方についての意識を変え、大量消費・大量廃棄から持続可能な社会へと向かう対策を具体的に進めるときが来たと考えます。食品ロス削減に対する市の取り組みを伺います。また、今後、さらなるごみ減量を行っていくうえで何が重要となるか、見解を伺います。

答 食品ロス削減の理解促進に向けて、一般家庭に対しては情報紙や講座などを通じて食品ロスの現状を伝えるとともに、過剰廃棄や食べ残しを少しでも抑制できるように周知・啓発を行います。事業者に対しては、訪問指導や調査で実態把握に努め、協力を求めていると考えています。さらなる燃やせるごみの減量を継続していくために、ごみの発生抑制と再使用の2Rを推進し、若年層や地域へ向けた啓発を行っていきます。

洪水ハザードマップの見直しを よりわかりやすく検討

浅川 修一 (日本共産党)

問 本市の洪水ハザードマップでは、どのくらいの浸水になるかはわかるが、どこが危険なのか、どう行動すればよいかはわかりません。国のマニュアルでは、水が到達するまでの時間など、実際に使える情報を、と求めています。本市でもそういうことも含めた見直しが必要ではないでしょうか。いざというときには市民がリアルタイムで状況がわかるよう、多摩川、残堀川に定点カメラなどの設置が必要だと考えます。

答 洪水ハザードマップは、洪水時に、居住地付近がどのような状況になるのか知ってもらうことが第一義的であり、周知に努めたい。本市でも水害に対する避難勧告等の判断・伝達マニュアルを作成しており、その内容を反映して、市民によりわかりやすく、残堀川では、カメラは設置されていないが、都の水防防災総合情報システムで24時間水位の観測を行っており、河川の状況を把握しています。